

離宮の水田



石割京大農園
Ishiwari Kyoto-univ. Farm

修学院離宮の水田を引き受けるかどうかを農学部内で検討したとき、農学部にはすでに附属農場があるのに、さらに離宮の水田を引き受けるとは理由がわからない、と言われました。離宮の水田は附属農場とは全く違う「実際の田んぼ」です。そこでの栽培では、施肥や除草剤の施用、病害や害虫、あぜ刈り、水入れ、稲刈り、稲木掛け、全ての作業がリアルで、水田でイネを栽培する上での改善点をカラダで理解することが出来ます。実際の圃場で行う作業には、農業を科学的に解明するために棄却していった多くの変動要因が内包されています。21世紀、農学は事象からエッセンスを抽出して科学に昇華させる段階を終えて、その科学的成果を統合して現場に還元する段階に入ったと思います。それを志向しない学問は農学とは呼べません。附属農場がそのような機能を果たしていないが故に不要論を抑えられないことに気がついていない。思考停止。大学は人を作るところ。

梅雨の晴れ間

